

極 研 広 第 8 5 号

平成30年10月17日

各 都 道 府 県 知 事

附属学校を置く各国立大学法人学長 殿

附属学校を置く各公立大学法人の理事長

大学共同利用機関法人

情報・システム研究機構

国立極地研究所長

中 村 卓 司 (公印省略)

2019年度教員南極派遣プログラムの公募について(依頼)

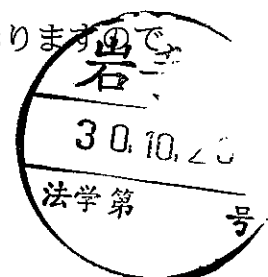
時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、南極観測事業の中核機関である大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所では、平成30年度に引き続き、「教員南極派遣プログラム」を実施することとし、添付の実施要項を当研究所のHP(URL: <http://www.nipr.ac.jp/info/h31-kyouinhaken/>)に掲載して公募をしております

このプログラムは、極地の科学等に興味を持つ現職の教員を南極昭和基地に派遣し、現地から衛星回線によるTV会議システム等を利用して、派遣教員が企画する「南極授業」を行うものです。派遣教員には「南極授業」により、国内の小・中・高等学校等の児童生徒や国民の皆さまに向けて、南極に関する理解の向上のための情報発信を行うことに加え、帰国後の活動のための知識の習得や自己研鑽をしていただくために、文部科学省(南極地域観測統合推進本部)と連携し、(財)日本極地研究振興会との共催で実施しています。

つきましては、関係者への周知にご協力をいただきたくお願いいたします。また、応募者に対しては、下記のとおり法人代表者の推薦、及び学校長の許可を必要としますのでよろしくお願いいたします。

なお、このプログラムによる派遣につきましては、当該教員の給与と不在となる間の人員補充は、当該学校のご協力、ご配慮をお願いするものとなっております^①ので、よろしくお取り計らい願います。



記

1 推薦締め切り及び書類提出期限

2019年1月8日（火）17:00（必着）

2 提出書類について（添付の実施要項を参照）

- ①参加申込書（別紙様式1）…派遣応募者が作成
- ②履歴書（別紙様式2）……派遣応募者が作成
- ③健康調書（別紙様式3）……派遣応募者が作成
- ④応募許可書（別紙様式4）…派遣応募者が所属する学校長が作成
- ⑤推薦状（様式は自由）……派遣応募者が所属する学校長が作成
- ⑥授業計画（様式は自由）……派遣応募者が作成
- ⑦推薦書（別紙様式5）……派遣応募者が所属する法人代表者が作成

※別紙様式6は公立学校用なのでここでは記載していません。

3 書類送付先

〒190-8518 東京都立川市緑町 10-3

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立極地研究所広報室 宛

※封筒の表に「教員南極派遣プログラム応募書類」と朱書きのこと。）

4 問合せ先

国立極地研究所広報室（担当：本吉、^{おばま}小濱）

メール：kofositu@nipr.ac.jp

電話：042-512-0655 FAX：042-528-3105

2019 年度 教員南極派遣プログラム 募集要項

情報・システム研究機構国立極地研究所では、2019 年 11 月に日本を出発予定の第 61 次南極地域観測隊夏隊に同行し、昭和基地から「南極授業」を行う教員を募集します。

本プログラムは、極地の科学や観測に興味を持つ現職教員を南極昭和基地に派遣し、衛星回線を利用して、現地から派遣教員が企画する「南極授業」を行うものであり、国立極地研究所、公益財団法人日本極地研究振興会が主催し、文部科学省（南極地域観測統合推進本部事務局）と連携して実施します。

派遣教員には、この「南極授業」や帰国後の活動を通して、国内の小・中・高等学校等の児童生徒や一般国民に向けての、南極に関する理解向上につながる様々な情報発信をしていただくこと、そのための知識習得や自己研鑽をしていただくことを期待しています。

◎「南極授業」とは：

南極昭和基地と国内を衛星回線で結び、派遣教員が自身の計画に基づいてコンテンツを作成し、所属校や一般に向けて行う授業です。授業内容は、南極に関係するものであれば、専門教科は問いません。

なお、コンテンツ作成は、例年、観測隊の南極行動中における野外観測チームへの同行、設営作業への参加、昭和基地や南極観測船「しらせ」船内の生活など、同行する観測隊の活動を素材として、自身が現地で映像編集、資料作成等を行い完成させる必要があります。

《重要》応募にあたって

- 南極地域観測事業は、国の予算で実施されている事業です。本公募実施段階では 2019 年度の国の予算が成立していないため、今後の状況によっては、公募内容の変更、募集中止となる場合があります。
- 昭和基地周辺の海氷状況は毎年変化しており、南極観測船「しらせ」の昭和基地沖への接岸、物資輸送など観測隊の活動にも影響を及ぼしています。
観測隊の活動では、特に物資輸送は最重要事項であり、この実施状況によって、観測・設営に関する計画が、縮小・中止となる可能性もあります。
その場合、本プログラムの実施についても、当初計画から変更となる可能性があることを、あらかじめご承知おきください。
- 第 61 次南極観測隊のメインターゲットは海洋観測になる予定です。これにより、昭和基地周辺での活動は通常より 2 週間程度短い 1 か月程度で計画しています。「南極授業」の企画にあたっては、あらかじめこの点に留意して企画してください。

1. 推薦

本プログラムの募集は以下の推薦者の推薦に基づいて行います。

- (1) 被推薦者(派遣教員)が公立学校所属教員の場合は、当該学校を所掌する教育委員会
- (2) 被推薦者(派遣教員)が国立大学附属学校、公立大学附属学校又は私立学校所属教員の場合は、その学校長、もしくは法人代表者

2. 被推薦者(派遣教員)の資格

- (1) 日本国内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に勤務する現職教員であること。
- (2) 極域の科学と極地観測等に興味と関心をもっていること。
- (3) 児童生徒の南極の自然への理解・興味・関心の向上、地球環境・国際協調に関する意識の向上などを目的として南極昭和基地からの「南極授業」の企画立案および実施ができること。
- (4) 所属する学校長の推薦と派遣の許可が得られること。
- (5) 公立学校所属の場合は、所管の教育委員会の推薦が得られること。国立大学附属学校、公立大学附属学校、私立学校所属の場合は、学校長、もしくは法人代表者の推薦が得られること。
- (6) 心身とも健康であり、南極地域での行動に耐えうる体力の持ち主であること。
- (7) 授業で使用するコンテンツをご自身で作成できること(例:PowerPoint や Keynote を用いてコンテンツ作成ができること等)
- (8) 年齢、性別は問わない。

3. 募集期間

2018 年 10 月 17 日(水)～ 2019 年 1 月 8 日(火)

4. 派遣予定人数

1名

※ 第 61 次南極地域観測隊では、全体計画の都合、昭和基地滞在時間が従来より短期間となるため、「南極授業」の実施回数が限られる。そのため、これまで各年2名派遣してきたところ、今回の募集は1名とする。

5. 派遣期間(予定)

2019 年 11 月下旬～2020 年 3 月下旬

(昭和基地での滞在期間:2019 年 1 月上旬～2020 年 2 月初旬)

6. 選考方法

国立極地研究所に設置する選考委員会で選考します。選考は、書類審査及び面接により実施します。

7. 選考基準

提出された「南極授業」計画案の実現性、着眼点等から総合的に選考します。

8. 選考結果の通知

推薦者に書面にて、2019 年 1 月下旬に通知します。

9. 応募方法

(1)被推薦者(派遣希望教員)が、以下の書類を作成し所属する学校へ提出する。

①参加申込書(別紙様式1)

②履歴書(別紙様式2)(A3 両面で作成)

③「南極授業」計画案(南極昭和基地から自分ならこのような授業をするという内容の2回分の授業計画)(様式自由)

・「南極授業」は、昭和基地から、衛星回線によるTV会議システム等を利用して行います。(この授業の時間は、1回45分程度)

※南極で行う授業回数については、当該観測隊の全体計画を踏まえて後日決定しますが、2回程度を予定しています。

④健康状況の分かる書類

1)所属先等での直近の健康診断結果(写可)

(無い場合はお手数ですが、受診医療機関で結果の再発行をお願いします。)

2)現在かかっている病気等がある場合はその診断書(写可)

3)健康調書(教員南極派遣プログラム用)(別紙様式3)

(2)被推薦者(派遣希望教員)が所属する学校又は教育委員会が、下記の要領で書類を作成し、国立極地研究所へ推薦する。

①公立学校の場合

1)学校の許可

被推薦者が所属する学校の学校長が、推薦状※(様式自由)及び許可書(別紙様式4)を添えて、上記(1)の書類を学校を所管する都道府県教育委員会、指定都市教育委員会又は中核市教育委員会に提出する。

2)教育委員会の推薦

各都道府県教育委員会及び各指定都市教育委員会は、中核市教育委員会経由のものを含めて被推薦者を取りまとめ、推薦書(別紙様式6)を付して(1)及び(2)① 1)の書類とともに国立極地研究所に推薦する。

②国立大学附属学校、公立大学附属学校、私立学校の場合

被推薦者が所属する学校長が、推薦状(様式自由)、許可書(別紙様式4)及び、学校長、もしくは法人代表者の推薦書(別紙様式5)を添えて、上記書類を国立極地研究所に提出する。

※推薦状について

- ・ A4サイズ1枚以内(両面記載可)。
- ・ 被推薦者の氏名及び推薦状作成者の住所、氏名、電話番号(メールアドレス)、作成年月日が明記されていること(推薦状作成者に連絡することがあります)。
- ・ 推薦理由には協調性や適応能力などの資質について分かりやすく記載されていることが望ましい。
- ・ 推薦状は、必ず推薦状作成者本人の自筆の署名をし、封筒に入れ封印を押したものに限り、開封無効。本文のワープロ作成可。

10. 応募書類の送付先

〒190-8518 東京都立川市緑町 10-3 国立極地研究所広報室

- ・ 封筒の表に「教員南極派遣プログラム応募書類」と朱書きのこと。
- ・ 必ず郵送してください(持参での提出不可)。郵便事故が心配な方は書留にしてください。

* 2019 年 1 月 8 日(火) 17:00 必着

11. 応募に当たっての留意事項

南極地域観測隊の同行者であっても、観測隊員と同様の環境下での行動をすることになります。観測隊員の公募要項に示されている事項を抜粋しますので理解したうえで応募してください。

(観測隊員の公募要項から抜粋)

南極は極寒、強風、文明国からの隔離など厳しい環境であり、南極での行動中は、文

明国と隔離された閉鎖社会となり、国内とは異なる条件下におかれることとなります。職務に必要な専門的知識・経験を有することはもとより、心身ともに健康で協調性があり、歴史ある国家事業に従事する観測隊員としての自覚と責任を持てることが条件となります。詳しくは、以下を確認し御理解下さい。

- ①南極地域観測隊員として観測事業に携わることについての説明(参考資料1)
- ②南極における医療の現状と限界についての説明(参考資料2)

12. 経費について

派遣に関する以下の経費は、国立極地研究所が負担します。

- (1)航空運賃:成田(羽田)空港からオーストラリアの往復航空運賃(空港施設利用料、空港税等を含む。)※出入国のためのパスポートは一般旅券となりますが、新規のパスポート取得申請にかかる費用は個人負担となります。
- (2)派遣者の居住地(または勤務先)から成田(羽田)空港までの往復交通費
- (3)食費:「しらせ」乗船中ならびに昭和基地滞在中の食費
- (4)身体検査費
- (5)事前訓練(冬期訓練及び夏期訓練:各5日 程度)参加旅費
- (6)国立極地研究所(東京都立川市)での事前打ち合せ(全3回)参加旅費
- (7)帰国報告会参加旅費
- (8)衣類・装備経費:観測隊員に準じた衣類・装備類を支給(一部は貸与)
*派遣教員の給与や代替教員を置く場合の経費については、本プログラムでは負担いたしません。

13. 候補者となった場合

- (1)南極地域観測隊員と同等の身体検査を受診していただきます。(検査項目:別途通知)
- (2)身体検査の合格後に、南極地域観測統合推進本部(本部長:文部科学大臣)に推薦し、所要の手続きを経て第61次南極地域観測隊同行者として決定します。
- (3)国立極地研究所が実施する事前訓練及び事前打ち合わせに参加してください。
特に、2月下旬～3月上旬に実施する冬訓練及び6月中旬～下旬に実施する夏期訓練に参加し、観測隊の活動計画を十分承知していただく必要があります。
- (4)終了後は、活動状況のレポート、将来にわたっての提言等を国立極地研究所に提出することのほか、日本極地研究振興会および国立極地研究所等の広報誌等への寄稿、南極を題材にした教材作成について協力をお願いする場合があります。また、国内の小・中・高等学校等の児童生徒および一般国民に向けて、南極に関する理解の向上のための講演など情報発信をお願いします。

14. 今後のスケジュール(予定)

2018 年 10 月 17 日(水)	本公募開始
2019 年 1 月 8 日(火)	応募締め切り、審査開始
1 月下旬	書類選考結果通知を郵送
2 月中旬以降	派遣候補者身体検査、医師による検査結果の確認 (確認終了後、南極地域観測統合推進本部(文部科学省)に同行者候補者として推薦)
2 月下旬～3 月上旬	第 61 次南極地域観測隊冬期総合訓練
6 月中旬頃	第 61 次南極地域観測隊同行者に決定
6 月中旬～下旬	第 61 次南極地域観測隊夏期総合訓練
8 月下旬以降	事前打ち合わせ会(延べ 3 回)
11 月下旬	第 60 次南極地域観測隊成田空港を出発 西オーストラリア州フリーマントル港にて「しらせ」に 乗船、南極へ向かう
2020 年 1 月下旬～2 月上旬	南極授業
2 月中旬	昭和基地を出発
3 月下旬	オーストラリアから空路帰国

15. その他

(1) 問い合わせ先

国立極地研究所広報室

メール: kofositu@nipr.ac.jp 電話: 042-512-0655 FAX: 042-528-3105

〒190-8518 東京都立川市緑町 10-3

(2) この要項に定める項目のほか、派遣に必要な事項は主催者が定める。

(3) 個人情報の取り扱い

本募集に関連して提出された個人情報については、選考の目的に限って使用し、選考終了後は、採用された方の情報を除き全ての個人情報は責任を持って破棄します。

(別紙様式)

教員南極派遣プログラム参加申込書(別紙様式1)

派遣応募者履歴書(別紙様式2)(A3 両面で作成)

健康調書(教員南極派遣プログラム用)(別紙様式3)

学校長作成の許可書(別紙様式4)

学校長もしくは法人代表者作成の推薦書(別紙様式5)

教育委員会作成の推薦書(別紙様式6)

「南極授業」計画案(様式自由)

学校長が作成する推薦状(様式自由)

(参考資料)

南極地域観測隊員として観測事業に携わることについての説明(参考資料1)

南極における医療の現状と限界についての説明(参考資料2)

2019 年度 教員南極派遣プログラム 参加申込書

平成 年 月 日

大学共同利用機関法人

情報・システム研究機構国立極地研究所 殿

私は、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構国立極地研究所が主催する 2019 年度教員南極派遣プログラムへ応募いたしたく、添付のとおり関係書類を提出します。

勤務先・職名						
ふりがな 氏 名	印	勤務先	電話 : Fax :			
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日生	年 齢	歳	性 別		
勤務先住所	〒 E-Mail:					
自宅住所等	〒 電話: 携帯電話 : Fax: E-Mail:					
備 考						

履 歴 書

平成 年 月 日現在

その他

ふりがな 氏 名		男・女 印	写真をはる位置 1. 写真のサイズ 縦 45mm～50mm 横 35mm～50mm 2. 裏面のりづけ
昭和・平成 年 月 日生 (満 歳)			
本籍	都・道・府・県	出生地	
ふりがな		Tel	
現住所 〒		携帯電話	
E-mail		Fax	
勤務先	名称・所属・職 所 在 地	〒 E-mail	Tel Fax
	代表者の職・氏名		
	上司の職・氏名		
	年 月 日	学 歴 (中学校以上)	
同行決定後の記入欄			

[illegible]

寒冷地及び積雪地の経験（場所・期間）					
海外旅行及び海外生活の経験（場所・期間）					
スポーツ歴（種類・期間）					
趣味及び特技					
嗜好品					
応募動機					
パワーポイント、word、Excelや簡単な動画編集などのPCの操作スキルの有無、経験等 （授業のコンテンツ作りは自身で行うため、PCの操作技術が必要）					
婚姻状況 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 既婚 未婚 婚約中 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">（該当するものを○で囲む）</div>					
家族状況	住 所 〒				
	E-mail			Tel	
	氏 名	続 柄	年 齢	同居・別居	備 考

(別紙様式3)

健康調書の作成について

【記入上の注意】

この申請書は、教員南極派遣プログラム応募者に対し、南極地域における観測活動に従事するために必要な身体についての健康判定の基礎となるデータを得るために行うものです。正確に漏らさずに記入してください。

得られたデータは、情報・システム研究機構国立極地研究所極地観測隊員健康判定委員会(以下「健康判定委員会」)において総合的に審議されるための事前の資料となります。

また、申請書は将来的な医療改善と医学的研究推進のため、個人を特定できない形で活用される他は、職務に関係の無い第三者の目に触れたり、前述以外の他の目的に使用されることはありません。

なお、身体検査受診時に記入していただく健康調書(Ⅰ)という書類に今回記入していただいた書類も使用しますので、あらかじめご了承ください。

健康調書（教員南極派遣プログラム）

○記載項目

ふりがな 氏 名 性別： 男・女

生年月日 昭和・平成 年 月 日（満年齢 歳 ヶ月）

Ⅲ 既往歴

1. 現在までにかかった病気や負傷の種類、その時期や経過について、記入してください。

罹患時期	病名又は負傷名	その年齢	経 過
出 産 直 後 及 び 乳 児 期			
学 齢 期 前			
小 学 校 从 来 高 校 まで			
以 後			

2. 最近疲れを感じますか。

疲れを感じる 疲れを感じない

3. 最近体重に変化がありますか。

増加(____kg / ____ヶ月前から) 変化なし 減少(____kg / ____ヶ月前から)

4. かぜにかかりやすいですか。

かかりやすい（頻度____回/年） かかりにくい

5. 扁桃腺炎にかかりやすいですか。

かかりやすい かかりにくい

6. 血圧を測定したことが有りますか。

有 無

「有」に○をつけた方は、下記の該当欄を記入してください。

項 目	年 齢	収縮期血圧(最大)～拡張期血圧(最小)	
はじめて血圧を測定した時	歳	mm Hg ～	mm Hg
高血圧と言われた時	歳	mm Hg ～	mm Hg
低血圧と言われた時	歳	mm Hg ～	mm Hg

7. 次の症状を訴えたことがあれば○印をつけて、その年齢を記入してください。

脈のみだれ (歳) 胸ぐるしさ (歳)
 動 悸 (歳) む く み (歳)
 息 切 れ (歳) 脈拍が多い (歳)

8. 寒いときの手足の冷えが

強い 弱い

9. 寒いとしもやけが

出来やすい 出来にくい

10.

(1) ツベルクリン反応

陽 性 陰 性

「陽性」に○をつけた方は、次の事項を記入してください。

①陽転の時期： 歳

②陽転の原因： 自然陽転 BCG陽転

③BCGの接種： 有 無

(2) 胸膜炎にかかったことが有りますか。

有 (____歳) 無

胸に水がたまったことが有りますか。 (「有」に○をつけた方のみ回答してください。)

有 無

(3) 肺結核にかかったことが有りますか。

有 (____歳) 無

(4) 気管支喘息にかかったことが有りますか。

有 (____歳) 無

(5) その他の呼吸器疾患、例えば、肺炎、気管支炎などにかかったことが有りますか。

有 (病名 _____ ・ ____歳) 無

(6) 次の症状を呈したことが有れば○印をつけて、その年齢を記入してください。

寝汗 (____歳) 喀血 (____歳) 咳 (____歳)
胸痛 (____歳) たん (____歳)

1 1. 次の症状を呈したことが有れば○印をつけて、その年齢を記入してください。

黄疸 (____歳)	胆石症 (____歳)
胃・十二指腸潰瘍 (____歳)	回虫症 (____歳)
十二指腸虫症 (____歳)	よく食べ物が嘔めない (____歳)
口がくさい (____歳)	舌がいつも白い (____歳)
食欲がない (____歳)	食後げっぷが多い (____歳)
食後におなかが張ったり胃の具合が悪い (____歳)	
胸やけやすっぱい水が上がる (____歳)	おなかがすいた時、腹が痛い (____歳)
激しい腹痛で時々悩む (____歳)	食べ物がのどや胸につかえる (____歳)
しばし下痢をする (____歳)	血の混じった便が出る (____歳)
黒い便が出たことがある (____歳)	
便秘と下痢を繰り返した (____歳)	

1 2.

(1) 次の症状を呈したことが有れば○印をつけてください。

排尿時に痛みがある (____歳)	排尿しにくかった (____歳)
むくみ (____歳)	排尿の回数が多くなった (____歳)
排尿してもまだ尿がたまっている感じがあった (____歳)	
尿量が多くなった (____歳)	尿量が少なくなった (____歳)
尿に血が混じった (____歳)	腎結石のような痛みがあった (____歳)
尿に蛋白が出ると言われた (____歳)	精液に血が混じった (____歳)

(2) 腎炎にかかったことが有りますか。

有 (____歳) 無

(3) 腎結石にかかったことが有りますか。

有 (____歳) 無

(4) 膀胱炎、腎盂炎にかかったことが有りますか。

有 (____歳) 無

1 3.

(1) 次の症状を呈したことが有れば○印をつけてください。

口のかわき (____歳)	性欲がなくなった (____歳)
多量の水を飲む (____歳)	皮膚が化膿しやすい (____歳)

(2) 尿から糖が検出されたり、糖尿病と診断されたことは有りますか。

有 (____歳) 無

1 4.

(1) 次の疾患にかかったことが有れば○印をつけてください。

梅毒 (____歳) 淋病 (____歳) 軟性下疳 (____歳)

(2) ワッセルマン反応を調べたことが有りますか。

有 (陽性・陰性) 無

15. リウマチ、神経痛、関節の痛みなどを訴えたことが有れば、その部位と年齢を記入してください。

部位：_____ 年齢：_____ 歳

16.

(1) 微熱（37℃～38℃）が1週間以上持続したことが有りますか。

有（_____ 歳） 無

(2) 38℃以上の発熱が数日以上持続したことが有りますか。

有（_____ 歳） 無

(3) 赤痢、腸チフス、日本脳炎、マラリアなどの伝染病にかかったことが有りますか。

有（病名：_____ ・ _____ 歳） 無

17. 膠原病、じん麻疹、薬品アレルギー、花粉症、その他のアレルギーの疾患にかかったことが有りますか。

有（病名：_____ ・ _____ 歳） 無

18.

(1) 皮下に多くの出血斑がでたことが有りますか。

有（_____ 歳） 無

(2) 歯ぐきからしばしば出血したことが有りますか。

有（_____ 歳） 無

(3) 貧血にかかったことが有りますか。

有（_____ 歳） 無

(4) 血液の病気にかかったことが有りますか。

有（_____ 歳） 無

19. 甲状腺異常、その他の内分泌疾患にかかったことが有りますか。

有（病名：_____・_____歳） 無

20.

(1) 次の症状を呈したことが有れば○印をつけてください。

頭痛（ 長く続いた 急激に起こった _____歳）

頭が重い（_____歳） めまい（_____歳） のぼせ（_____歳）

肩こり（_____歳） けいれん（_____歳） 卒倒（_____歳）

手足が不自由（_____歳） 手や指がふるえる（_____歳）

しびれる（_____歳） 歩くのが不自由（_____歳）

意識がなくなった（_____歳） てんかん（_____歳） 喋りづらい（_____歳）

乗り物酔い（_____歳） 手のふるえ（_____歳）

寝つきが悪い（_____歳） めざめやすい（_____歳）

毎日規則的に就寝できない（睡眠時間_____時間・_____歳）

21.

(1) 近視

有（視力：右_____・左_____） 無

(2) 色盲

有 無

(3) 結膜炎、その他の眼科疾患にかかったことが有りますか。

有（病名：_____・_____歳） 無

22.

(1) 耳鳴りを訴えたり、聞こえにくかったりしたことが有りますか。

有（_____歳） 無

(2) 外耳炎、中耳炎、乳様突起炎、その他の耳鼻科疾患にかかったことが有りますか。

有（病名：_____・_____歳） 無

23.

(1) 湿疹、じん麻疹、水虫、その他の皮膚疾患にかかったことが有りますか。

有 (病名: _____・____歳) 無

(2) 次の症状を呈したことが有れば○印をつけてください。

皮膚が敏感で弱い (____歳) 汗がひどい (____歳)

発疹がしやすい (____歳)

薬物を使ったあと皮膚に発疹が出たりかゆくなった (____歳)

薬物を使ったあとでむかついたり、気分が悪くなった (____歳)

24. むし歯は有りますか。

_____本 (治療済_____本、未処理_____本)

25.

(1) 外傷を受けたことが有りますか。

頭部外傷 有 (____歳) 無

内臓損傷 有 (部位: _____・____歳) 無

骨折・脱臼 有 (部位: _____・____歳) 無

はれもの 有 (部位: _____・____歳) 無

(2) 腹部の手術を受けたことが有りますか。

有 (病名: _____・____歳) 無

(3) 肛門からの出血、肛門周囲のかゆみ、痔、脱腸、ヘルニアなどにかかったことが有りますか。

有 (病名: _____・____歳) 無

(4) その他外科的治療 (手術) を受けたことが有りますか。

有 (病名: _____・____歳) 無

(病名: _____・____歳)

(1) お酒は飲みますか。

「飲む」に○をつけた方は、次の①～③にも回答してください。

清酒 焼酎 ビール ウィスキー ワイン その他 ()

每日

機会があれば

最高に飲んだ時の量 _____

食べる (種類: _____) 食べない

吸う 吸わない

①1日にどれくらい吸いますか。

本

歲

飲む (1日カップ 杯) 飲まない

飲むときの砂糖の量 (スプーン 杯)

27.

(1) 睡眠薬、精神安定剤を使用したことが有りますか。

有 無

「有」に○をつけた方は、次の①～③にも回答してください。

①いつ頃：_____歳

②期間：_____

③使用の理由：_____

28. 現在、何らかの病気で服薬をされていますか。

①病名

1. _____
2. _____
3. _____

②服薬されている薬品名

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____

(別紙様式4)

許 可 書

平成 0 年 月 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
国立極地研究所長 殿

学校名 _____

学校長氏名 _____ 印

本校に所属する下記の教員が 2019 年度教員南極派遣プログラムに応募することを許可します。

記

1. 応募教員氏名
2. 生年月日・性別
3. 応募教員の専門分野・教科
4. 応募教員についての所見・健康状態

(別紙様式 5)

推 薦 書

平成 年 月 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
国立極地研究所長 殿

法人等名 _____

〇〇〇氏名 _____ 印

※〇〇〇には「学校長」もしくは「法人代表者の役職」を記載してください。

2019 年度教員南極派遣プログラムへの応募について、下記の教員を推薦します。

なお、推薦する教員の派遣が決定した場合において、派遣期間中本人が不利益な待遇になることはありません。

記

1. 推薦する教員氏名
2. 生年月日・性別
3. 推薦する教員の所属学校名

(別紙様式 6)

推 薦 書

平成 年 月 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
国立極地研究所長 殿

教育委員会名 _____

教育長氏名 _____ 印

2019 年度教員南極派遣プログラムへの応募について、下記の教員を推薦します。

なお、推薦する教員の派遣が決定した場合において、派遣期間中本人が不利益な待遇になることはありません。

記

1. 推薦する教員氏名
2. 生年月日・性別
3. 推薦する教員の所属学校名

